



Event

「安心」と「健康」に関する栖本小の取り組み

①不審者避難訓練

子どもたちが毎日安心して学校生活を送り、のびのびと学べるよう、栖本小学校では様々な視点から安全・健康に関する取り組みを進めています。

6月30日（月）には、栖本駐在所の福島さんに来校していただき、「不審者避難訓練」を実施しました。子どもたちには、不審者が侵入した際の合い言葉、避難している途中に「もどらない」こと、そして不審者から身を守るための「いやです」「だめです」「行きません」の三つの言葉を再確認しました。教職員もまた、不審者への冷静な対応やさまたの効果的な使用法、組織的な動き方など、実践的なご助言をいただき、有事の際の対応力を高めることができました。



②「命を大切にする心」を育む授業公開

7月4日（金）の授業参観では、各学年で「命を大切にする心」を育む授業を公開しました。子どもたちには、授業で学んだことをもとに、自分自身の命はもちろんのこと、家族や友達の命の尊さについても深く考え、日々の生活の中でその大切さを実感してほしいと思います。





EVENT

③大切な歯を育む！歯科指導で学ぶ健康習慣

子どもたちの健やかな成長には欠かせない歯の健康を守るため、専門家による「歯科指導」も充実させています。6月25日（水）には、松本歯科医院の先生にお越しいただき、3・4年生の子どもたちに歯垢染め出しを通じて磨き残しを確認し、効果的な歯磨きの仕方を実践的に指導していただきました。そして、7月2日（水）には、天草市歯科衛生士の森本さんが来校され、1・2年生にむし歯のメカニズムや正しい歯磨きの方法を分かりやすく教えてくださいました。子どもたちはクイズにも意欲的に答え、熱心に学んでいました。5・6年生は、本校の村上先生が教材を使って、歯磨きすることの大切さ、歯の磨き方について指導をしていただきました。今回学んだことを生かして、歯を今まで以上に大切にしてほしいと思います。

子どもたちの感想より

- ・歯と歯ぐきを健康にするために、毎日歯みがきと早寝・早起きをする。
- ・丁寧に時間をかけて、歯をみがく。
- ・おやつを食べ過ぎずに、歯みがきをきちんとする。
- ・定期的に検診をしたり、しっかりかんで食べ物を食べる。



④互いを認め、心通わせる学びの期間～1学期人権旬間～

6月に「1学期人権旬間」に取り組みました。1学期人権旬間では、「ともだちを大切にしよう」というテーマを掲げ、みんなで深く考えました。栖本小学校には、1年生から6年生まで、61人の大切な仲間がいます。一人ひとり、顔も違えば、好きなことや得意なこと、苦手なこと、そして心の中で思っていることも、みんなそれぞれ違います。しかし、どんな違いがあっても、みんな栖本小学校の大切な仲間であることには変わりありません。友達の良いところをたくさん見つけたり、もし誰かが困っていたら「大丈夫？」と優しく声をかけたり、一緒に助け合ったりすることの大切さを改めて確認しました。そして、もし自分が嫌な気持ちになったり、困ったりしたときは、一人で抱え込まずに、信頼できる大人や友達に話してみる勇気も大切にしてほしいと願っています。

3・4年生の「イイカエマン」大作戦を紹介します！

人権旬間期間中に3・4年生による「人権集会」が行われました。今回の集会のテーマは、「イイカエマンになろう」です。「イイカエシマン」のように、相手が嫌な気持ちになる言葉を返すのではなく、どうすれば友達が嬉しい気持ちになる言葉を選ぶかを、みんなで真剣に考えました。子どもたちは、具体的な場面を想定しながら、友達が嫌な思いをしない言葉遣いについて活発に意見を出し合いました。そして、「なるほど、こう言えばいいのか！」と、納得の表情を浮かべながら、相手を思いやる言葉の選び方を学んでいました。言葉には、相手を励ましたり、笑顔にしたりする「魔法」のような力があります。この人権集会を通して、3・4年生が言葉の力を再認識し、日々の生活の中で「イイカエマン」として、温かい言葉を交わし合い、学校全体に、学校の外に、すもとの風として広げてくれることを期待しています。